

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	78
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴					
事務事業名	グローバル人材育成事業						
予算科目	10 款 1 項 3 目						
予算事業名	久山中学校教育振興費、社会教育総務費、グローバル人材育成費						
総合計画での位置づけ	学習・スポーツ機会を広げる						
担当課	教育委員会	担当課長	久芳 義則				
事業担当者	小鶴 志乃	一次評価者	大嶋 昌広				
事業の性格	自治事務						
法令根拠等							
事業の対象	町内在住の幼稚園児・保育園児・小学生・中学生・高校生・大学生						
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ALTを雇用し幼稚園、保育園、各学校に派遣することで、英語に触れて慣れさせること、英語活動の活性化を目的とする 中学校にて英語塾を開催し、英語科の成績向上及び英語検定3級以上の取得を目指す 修学旅行を利用し諸外国との交流の機会を設けることで、実践的な英語を習得させる 海外の学校への語学留学を通して、語学や外国文化を理解するなど、国際的視野や広い見識を身に付けることを奨励する 						
実施期間	開始年度	平成 29 年度から					
	終了年度	平成 年度まで					
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ALTを各学校、幼稚園、保育園へ派遣し、英語活動の充実を図る。 久山中学校において、株式会社トライグループと提携した英語塾を開催する。 修学旅行を利用し久山中学校が韓国の中学校と交流するため、また、各小学校が英語体験活動を行うための費用を一部補助する。 海外語学留学に関わる経費の一部を補助する。 						
目的達成の指標	英語検定3級以上取得率						
	区分	年度	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31年度
	目標	人		3	3	3	
実績	人		2	3			
指標設定の考え方	中学校卒業時点で英語検定3級(中学校卒業程度)以上の能力を有し、実践的な英語を習得しているグローバル人材の育成機会を増やすため、取得率を指標とする。						
事業遂行時懸案事項等	<ul style="list-style-type: none"> ALTを町で直接雇用しているため、人材確保の安定性に欠ける。 英語塾参加にあたっての保護者負担費がテキスト代のみであるため、やる気や向上心が希薄な生徒が見られ、授業妨害や欠席等が目立つ。 修学旅行の行先は国際情勢に左右されやすい。 語学留学者の帰国後の報告会等が無く、町への貢献や、小学生・中学生への留学意欲の喚起に繋がっていない。 						
事業実施時懸案事項対応等	<ul style="list-style-type: none"> ALTの安定した人材確保については、共同実施企業との協議を行う 英語塾の保護者負担費用の在り方の検討 英語を体験できる国内修学旅行先の検討 海外語学留学者の帰国後、報告会を開催を検討 						

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 2,527 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目		28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算
事務量	① 人工数	0.02	0.08	0.08	0.08
	② 人件費単価	7,289	7,381	7,350	7,350
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	145	590	588	588
事業費	直接事業費	3,000	21,700	21,700	21,700
	人件費	145	590	588	588
	合 計	3,145	22,290	22,288	22,288
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,500	11,500	11,500	11,500
	一般財源	1,645	10,790	10,788	10,788
	合 計	3,145	22,290	22,288	22,288

事業費計画

(千円)

区分/年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
目 標	3,000	21,700	21,700	21,700	
実 績	2,630	14,336			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
ALTの雇用人数	人	0	3	3	3
英語塾開催回数	回	0	30	30	30
海外の学校との交流回数	回	2	32	1	1
イングリッシュスクエア実施回数	回	1	2	2	2
海外語学留学支援者数	人	0	2	2	2
		5	5	5	5
		2	3		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 1,690 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目		28 年度決算	29 年度予算	29 年度決算
事務量	① 人工数	0.02	0.08	0.08
	② 人件費単価	6,768	7,381	7,129
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	135	590	570
事業費	直接事業費	2,630	21,700	14,336
	人件費	135	590	570
	合 計	2,765	22,290	14,906
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	地方債		0	
	その他		10,000	6,587
	一般財源	2,765	12,290	8,319
	合 計	2,765	22,290	14,906

実施備忘録

自己評価	評価者	小鶴 志乃
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている※該当する場合は左の口にチェックしてください。		C
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	2	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	3	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		B
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		C
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	2	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		C
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	2	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	2	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の効率化
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

将来を担う子ども達が人間性と創造性を育むための一つとして、グローバルな人材を育成する本プログラムは、総合計画後期基本計画に合致しており、必要・有効な事業であると言える。
29年度より、ALT(外国語指導助手)を雇用し、各幼・保・小・中学校に派遣した。当初1名、9月より2名を派遣したが、英語の授業との連携がとれず有効な授業体制が執れていなかった。
高校生・大学生海外語学留学支援については、毎年、2、3名の留学支援を行っているが、留学後の報告会等が実施されていないため、町への還元がみられない。
英語塾については、132名の中学生が受講し受講生の多くが英語力をUPさせている。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

ALT(外国語指導助手)の雇用方法について、パートナーシップからの要望でALTの派遣委託ではなく直接雇用であるため、雇用管理事務に相当な時間を要している。人材確保や語学留学生の成果の還元等の面で効率性に懸念がある。
また、受益者負担の見直しを行うことで中学校英語塾等より大きな効果が期待できる面もあると言える。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価	評価者	大嶋 昌広
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？		評点	判定
<input checked="" type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。		5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。		3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。		4	
<input checked="" type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。		5	
2. 町が実施する必要があるか？			
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている※該当する場合は左の口にチェックしてください。			
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。		3	C
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。		3	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		3	
3. 実施内容は適切か？			
①有効性			
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。		5	A
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。		4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。		4	
②効率性			
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。		4	C
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。		2	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。		3	
③公平性・透明性			
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)		2	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。		4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。		4	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

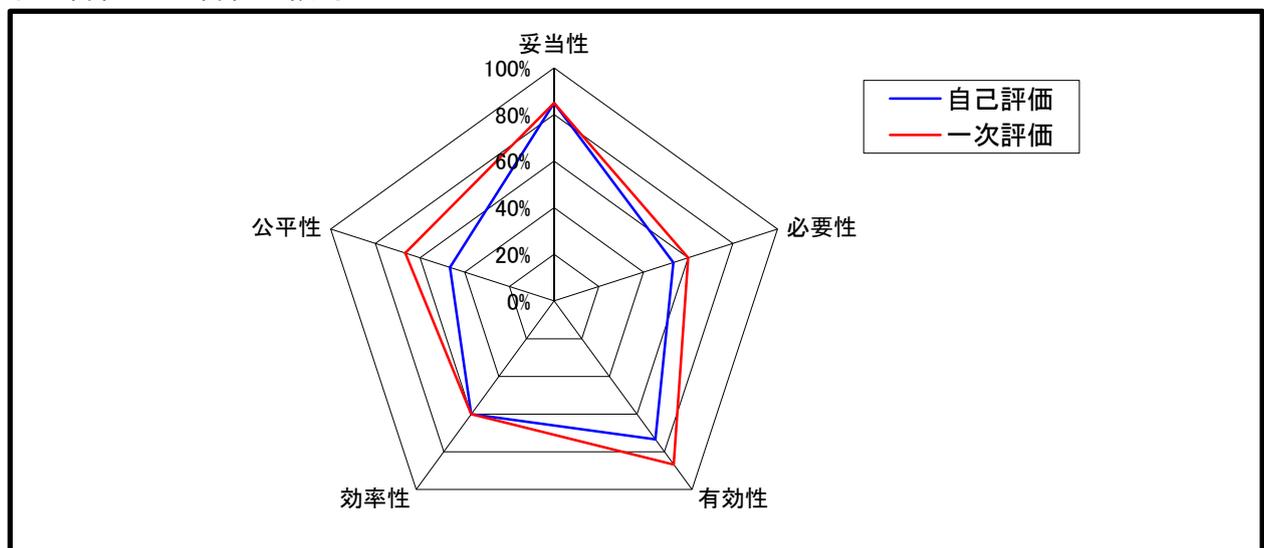


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

グローバル人材育成事業「みらいパスポート」では、町内に居住する幼児から大学生までを対象に英語に「ふれる」「親しむ」「学ぶ」ことを通して、外国の文化や歴史を理解し、多様な習慣や価値観を受入、将来を見据えたグローバルな人材として資質・能力を身につけるとともにふるさと久山を愛する郷土愛に充た子どもたちを育てる事を目的に幼・保・小・中学校に3名のALTを配置し英語力向上に寄与している。さらに中学校においては、民間の塾に講師を派遣してもらい英語塾を開催し、一定の成果を上げている。小中学校の修学旅行での英語体験については、国内の英語体験ができる場所を模索していきたい。平成25年度から行っている語学留学においては、帰国後の報告会等を行い小学生・中学生への留学意欲の喚起に繋げていきたい。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価 評価者 久芳 義則

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

協力企業との調整も進み、事業効果も表れている。留学帰国者の活躍の場を設け充実した事業展開を行う。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。



一次評価をやり直し、
 月 日
 までに事務局へ提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。



外部評価委員会で評価する。
 月 日
 開催予定

- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--